

セッション A Tech's corner（関西電力病院 臨床検査部 丸本 圭一）

セッションAは最前線でPSGに携わっている睡眠技士が、日頃の業務で感じた事や疑問に思った事などを、参加者と一緒に意見交換をする場として設けられました。発表・聴講者は、技師の方が中心で非常に多くの方に聴講いただき興味の深さがうかがえました。5演題ともに実際に検査解析をし、その経験の中での症例報告であるため、聴講している方も同じ疑問を持っていることも多く、経験に基づいた意見やアドバイスが出、活発な意見交換がされていました。

座長として、また技師として、今回この Tech's corner を設けていただいたのは、非常によかったと思います。なぜなら、学会での演題発表は、敷居が高く、技師の経験を発表するという機会は持ちにくいですが、今回のように検査の中で疑問に感じていることを参加者と一緒に考えて、問いかけていくような形式だと誰もが発表しやすく、また、言いつばなしの発表よりも多くの意見交換ができるからです。

次回の東京では、より多くの方に発表していただき、そこが交流の場になることを期待しています。

演題番号	演題名	演者	演者所属
A-1	終夜睡眠ポリグラフィ中に二段脈が認められた 12 歳男子中学生例	村木 久恵	大阪回生病院 睡眠医療センター
A-2	REM 睡眠中に muscle twitching と異常行動を認めたナルコレプシーの 1 例	八木 朝子	太田睡眠科学センター
A-3	ナルコレプシーを疑い MSLT を施行した1例の PSG と MSLT の解釈	中内 緑	京谷クリニック
A-4	CSAS/CSB と OSAS が合併しておりスコアリングに悩んだ症例	柴田 理絵	ますたに呼吸器クリニック
A-5	常時監視下の睡眠ポリグラフィが治療中の症状評価に役立った restless legs syndrome の1例	丸本 圭一	関西電力病院 臨床検査部